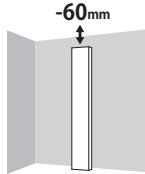


使用方法

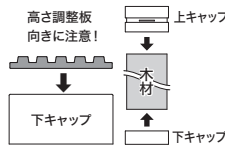
- 1** 取り付ける場所の天井の強度を確認し、高さを測ります。天井の高さから60mm短い2×6材を用意します。

注:不注意(体が当たる、足を引っかける等)による柱の転倒防止のため、壁ぎわに設置してください。



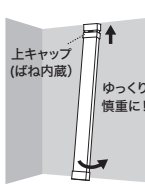
- 2** 凸を上にした高さ調整板を1枚、下キャップへ入れ、本製品を2×6材に差し込みます。

※高さ調整板2枚付属

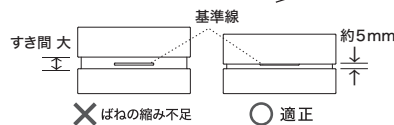
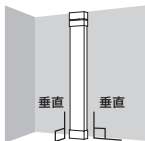


- 3** 柱を傾け上キャップを天井へ押し当てます。押し当てながら柱の下側を持ち上げ、少しずつ壁ぎわにずらして柱を垂直に立てます。

※つかえて柱を垂直に出来ない場合は無理に設置せず、高さ調整板で、柱の高さを低く調整してください。



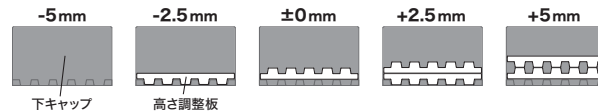
- 4** 柱の垂直を確認し、上キャップのばねが適切に縮んでいるかを基準線を目安に確認してください。外す時は、柱を天井に押し当てながら下側を手前にずらしてください。



※設置後に強度を確認の上ご使用ください。ばねの縮み不足の場合、高さ調整板で柱の高さを高く調整してください。

注:天井や床材の構造・強度によっては、天井や床材が変形する可能性がありますので、取り付け後2~3日後に設置状態を再確認し、必要に応じて高さ調整してください。

高さ調整方法



±5mmの範囲で柱の高さを調整できます。図の向きに高さ調整板を組み合わせて、下キャップにセットしてください。※±5mmの範囲で調整しきれない場合は、取り付け場所の強度を再確認してから天井高と木材の長さを測り直し、最適な長さの木材を用意してください。

※品質向上のため予告なく仕様及び外観を変更することがありますので予めご了承ください。※製品につきましては万全を期しておりますが、万一不良品などがございましたらお手数ですが右記連絡先までご連絡いただきますようお願い申し上げます。※印刷の都合上、色調は実物と異なる場合もございます。

警告

よじ登ったり、ぶら下がったりする行為は危険ですので絶対におやめください。

使用上の注意事項

○この製品は屋内用です。
○柱の転倒防止のため、壁ぎわに設置してください。○筒仕切りとして使用しないでください。○直射日光の当たるところ、高温となる所、浴室のような湿度の高い所では使用しないでください。○万一に備え、危険物、貴重品、破損の恐れのある物は載せないでください。○消臭剤、芳香剤、化粧品、整髪料、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、油脂、有機溶剤(ベンジン、シンナー等)の付着は変質劣化の原因になります。直ちに取除いてください。○製品には塗装をしないでください。○この製品は縦突っ張り専用です。横向きには使用しないでください。○破損やひび割れなどの異常が発生した場合は、直ちに使用をおやめください。○天災などの不可抗力、経年劣化、改造、誤った使用方法による故障、破損、事故などに対する補償等はいたしかねます。○日本国外に持ち出された製品は、補償の対象外となります。

使用荷重

柱に対し片側に荷重がかかる場合は15kgまでとしてください。倒れる恐れがあります。(棚板を使用する場合は棚板の重さも含みます。)使用荷重は実験値です。設置場所や、使用木材によって条件が変わる為、保証するものではありません。転倒する事もありますので、自転車、テレビ、貴重品は掛けないでください。